

岡山芸術創造劇場（仮称）の管理運営に係る 文化芸術団体ヒアリングの実施結果（概要）

岡山芸術創造劇場（仮称）の具体的な管理運営方法の検討にあたり、利用規則及び施設使用料金の項目について、文化施設を利用されている芸術文化団体の皆様からの様々な意見をいただきました。

1. 開催日時

令和元年9月15日（日）～令和元年9月17日（火）

2. 開催場所

9月15日（日）：勤労者福祉センター3階 小会議室C
（岡山市北区春日町5-6）

9月16日（月）：男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」 会議室A
（岡山市北区表町三丁目14-1）

9月17日（火）：岡山市役所本庁舎1階 多目的ルーム
（岡山市北区大供一丁目1-1）

3. 団体ヒアリングの対象団体

団体ヒアリングの対象団体は、現在の岡山市民会館や岡山市立市民文化ホールを日頃から利用されている団体（約90団体）を中心に調査の依頼をし、36団体の参加がありました。

4. 団体ヒアリングにおける主な意見

団体ヒアリングにおける利用規則及び施設使用料金に関する主な意見については、次のページのとおりです。

団体ヒアリングにおける利用規則及び施設使用料金に関する主な意見

項目	主な意見
開館時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開館時間は、職員の勤務時間に配慮して設定する必要がある。 ・ 会場の設営撤去やピアノ調律のためなど、やむを得ない理由がある場合には、開館時間の前後延長を認めてはどうか。
休館日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公演の連続利用等の場合は、休館日を柔軟に変更できるようにしたほうが良い。 ・ シンフォニーホールと休館日が重ならないようにしたほうが良い。
受付時間・ 申込方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口で日中行くことが難しい人のために、受付時間は19時より遅くしてはどうか。 ・ 窓口での対面予約以外に、インターネット予約の仕組みを取り入れてはどうか。 ・ 料金の支払いは、現金だけでなく、銀行振込もできるようにしてはどうか。
申込時期	<p>【大・中ホール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の助成金申請のための会場確保や、公演出演者の予定確保のためには、24ヶ月前ぐらいから予約できたほうが良い。 ・ 地方を順番に回る公演の場合、15ヶ月前では予定が決まらないため、12ヶ月前のほうが良い。 <p>【練習室等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 練習室を公演の控室等として利用する場合は、大・中ホールと同時期に申し込みができたほうが良い。
利用決定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用希望日が重複した場合、期間を定めて調整するよりは、その場で利用日を決定できるほうが手間がかからなくて良いのではないかと。 ・ 利用希望日が重複した場合、単に抽選で決定するのではなく、活動実績に応じて利用決定をしてはどうか。 ・ 中学・高校部活動の中国大会・県大会等の学校利用の行事である場合は、抽選ではなく、優先的に予約できる仕組みを取り入れてはどうか。
連続利用日数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4週間の連続利用は、「創造型劇場」のシンボリックな利用特典かもしれないが、どのような条件で連続利用可能とするのか説明が必要である。 ・ 連続利用期間が長い場合、他団体の利用を制限するため、他公演との利用調整が必要である。 ・ 自主事業による連続利用を想定しているのであれば、一般利用とは別に規定を設けたほうが良い。
使用料金設定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料金の大幅値上げは、これまでの活動団体は予算が不足し活動を継続できない。特に中ホールは市民団体の利用が多く見込まれるため、減免制度を取り入れるなど、使用料金に配慮が必要である。 ・ 営利目的かそうではないかによって使用料金に差を設けるべきではないか。また、市民利用かそうではないかによって使用料金に差を設けるべきではないか。 ・ 市民利用かどうかに関わらず、基本的な使用料金を下げる必要がある。 ・ リハーサル及び仕込み時の使用料金は、本番利用時より安価に設定するべきではないか。 ・ 中学校・高校による学校利用の行事については、減免するなど使用料金を配慮してはどうか。 ・ 利用者に負担を求める表現として、みんなでこの劇場を支え合うためにという“共助者”の視点で訴求したほうが良い。